

CYNAP Pure (サイナップ ピュア) 操作・設定ガイド 詳細版

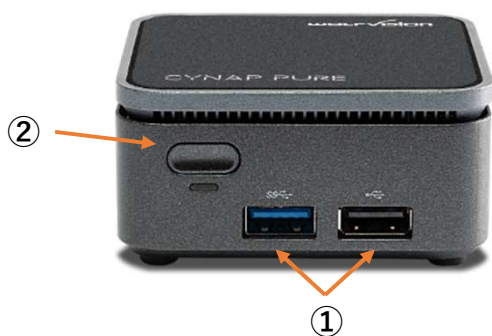


INDEX

1. 本体各部の名称	P2
2. 設定前の準備	P3
3. ネットワークの設定例	P8
4. 設定項目について	P13
5. 設定「General」について	P15
6. 設定「Background」について	P16
7. 設定「Splash Screen」について	P17
8. 設定「Network」について	P18
9. 設定「Mirror」について	P20
10. 設定「Output」について	P21
11. Webカンファレンス機能「BYOM」に関して	P24
12. ファームウェアアップデート	P30
13. 困ったときは	P33



1. 本体各部の名称



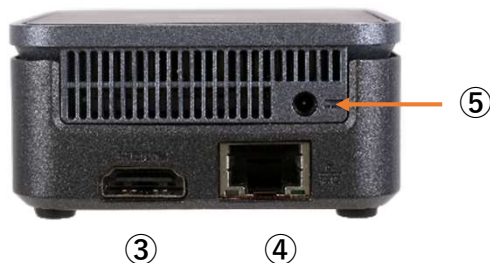
① USBポート：

各種USBデバイスを本機と接続します。（マイク/スピーカーやWebカメラ、オプションのリモコン受信機など）本体フロントパネルにUSB 3.0×1とUSB 2.0×1が搭載されています。

② 電源ボタン：

本機の電源をONにします。電源がONの状態でのボタンを素早く2回押すとシャットダウンになります。ボタンを長押しすると強制終了となります。

※電源OFFとなった場合は管理用ソフトを使っても遠隔操作が無効になります。ご注意ください。



③ HDMI OUT：

HDMIディスプレイに接続します。

④ イーサネットポート

有線LANに接続します。

⑤ 電源12V DC

付属の電源ケーブルを接続します。



⑥ セキュリティスロット：

盗難防止のためケンジントンロックに対応しています。



2. 設定前の準備

ご利用の際には以下の点にご留意ください

- ・ Miracast接続を利用する際、本機とデバイス間の推奨距離は最大約7mです。
デバイスとの距離が遠すぎる、間に障害物（壁や金属製ラックなど）がある場合、遅延や映像が乱れる等の症状が発生する可能性があります。
 - ・ 近くに無線機器が設置されている場合、接続や映像品質に影響を与える可能性があります。
他の無線機器との間を少なくとも1m以上距離を離して本機を設置してください。
 - ・ 本機のファームウェアは常に最新の状態でご利用下さい。
 - ・ 本機を使用しない際は電源をお切りください。長時間動作し続けた場合、システムの安定性への影響や故障のリスクが増加する可能性があります。
- ※本製品は24時間・365日稼働などの長期連続動作を保証しておりません。

本機の主な操作方法

- ・ Webブラウザ（HTML5対応）
- ・ 専用アプリ「vSolutionApp」
- ・ 専用リモコン（別売/オプション）

4ページと5ページをご参照ください

6ページをご参照ください

7ページをご参照ください

HDMIケーブルとUSBケーブルで接続するタイプのタッチディスプレイや電子黒板などでも操作可能です。



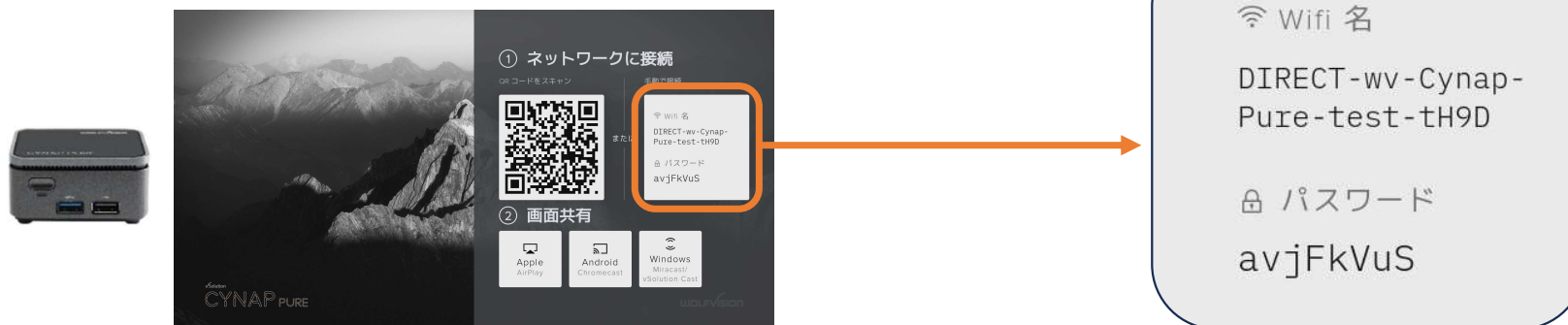
2.設定前の準備 Webブラウザ経由でサインアップを操作する 1

本機はWebユーザーインターフェース（Web GUI）を搭載しており、PC・タブレット・スマートフォンにインストールされたWebブラウザを介して操作や設定が行えます。Web GUIには、本機と同一セグメントのネットワークに接続されたデバイスのWebブラウザに本機のIPアドレスを入力することでアクセスできます。

PC（Windows OS）のWebブラウザから本機に接続する場合の接続例

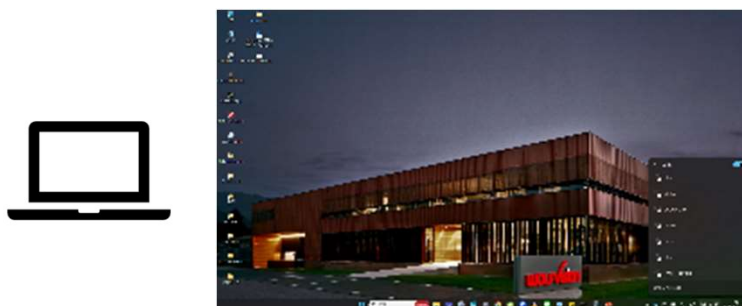
STEP1

ホーム画面に表示されたネットワーク情報（SSID名とパスワード）を確認



STEP2

PCのWi-Fi接続機能で上記のネットワークへ接続



Wi-Fiの情報入力の際のセキュリティキーの入力時の注意点



左記のようにPINの入力を要求された場合には「セキュリティキーを使用して接続」に切り替えて上記パスワードをご入力ください。



2. 設定前の準備 Webブラウザ経由でサインアップを操作する 2

ホーム画面上部に表示のステータスバーから本機のIPアドレスを確認し、PCのブラウザURL欄に入力します。デフォルト値は192.168.1.1です。

The diagram illustrates the process of connecting to the device via a web browser. It shows the device's interface, the IP address 192.168.1.1, and a PC browser with the IP address entered in the address bar. The text indicates that the IP address is confirmed from the status bar and entered into the browser's URL bar.

アクセスが完了するとWebブラウザ上に本機のHDMI出力画面と同じ映像が表示されます



2. 設定前の準備 専用アプリ「vSolutionApp」でサインアップを操作する

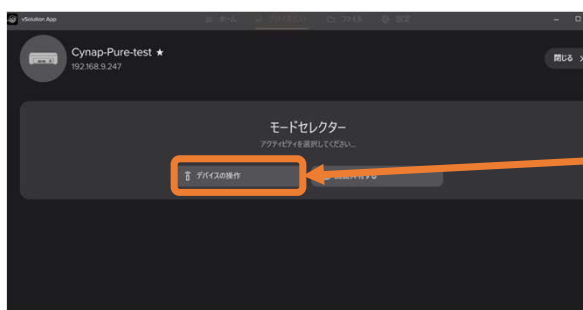
PC、タブレット、スマートフォンで利用可能な専用アプリ「vSolutionApp」から本機を操作できます。
 弊社ホームページよりアプリをインストールしてください。

<https://wolfvision.com/jp/support/vsolution-app>

4 ページのWebブラウザからのアクセスと同様、デバイスを本機と同一セグメントのネットワークに接続します。
 本アプリは起動後、自動的にネットワーク内のサインアップを検出します。



画面上部の「デバイスリスト」タブを選択すると、接続可能なサインアップが表示されます。
 表示されたデバイスリストから目的のサインアップを選択します。



モードセクターから「デバイスの操作」を選択します。
 本アプリ上にサインアップ画面が表示されます。
 ※モードセクターから選択できる機能は、接続するデバイスのOS/本機の設定により異なります。



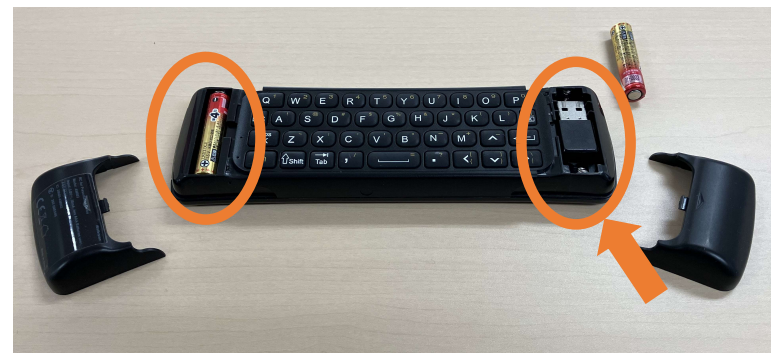
2. 設定前の準備 リモコン（別売）でサインアップを操作する

オプションの専用リモコンを使用して本機を操作できます。

リモコンは単4電池2本を使用します。

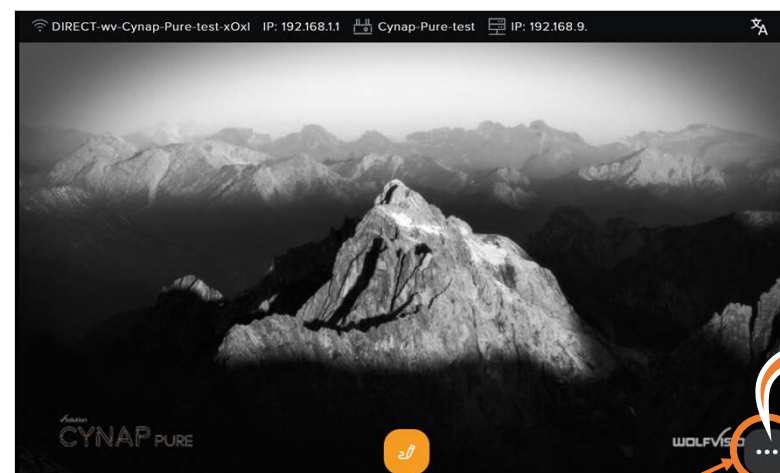
リモコンに付属のUSB受信機を本機のUSBポートに挿し込みます。

USB受信機は必ず電源をONにする前に本体に挿し込んでください。



USB受信機はリモコンの本体裏の蓋を開けた電池をセットする部分に格納されています。

主なボタンの役割



コントロールセンター

3.ネットワークの設定例1

Miracast対応デバイスの接続方式

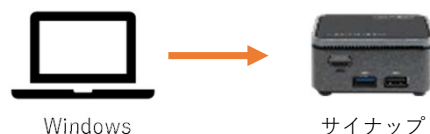
Windows PC及びAndroidデバイスは「Miracast」に対応しています。

Miracastには「Miracast P2P接続 (Wi-Fi Direct) 」と「Miracast MS-MICE接続」 の2通りの接続方法があります。

※Miracast対応のAndroidデバイスでは「P2P接続」のみサポートされます。

Miracast P2P接続

PCと本機が直接通信することで画面を無線投影する



ネットワークを経由せず直接無線投影する方式

Miracast MS-MICE接続

既存のネットワークに設置されたアクセスポイントを経由して無線投影する

各デバイスが同一セグメントのネットワークに接続された状態であることが前提条件



ネットワークを経由して無線投影する方式



3.ネットワークの設定例2

AirPlay対応デバイス、Chromecast対応デバイスの接続方式

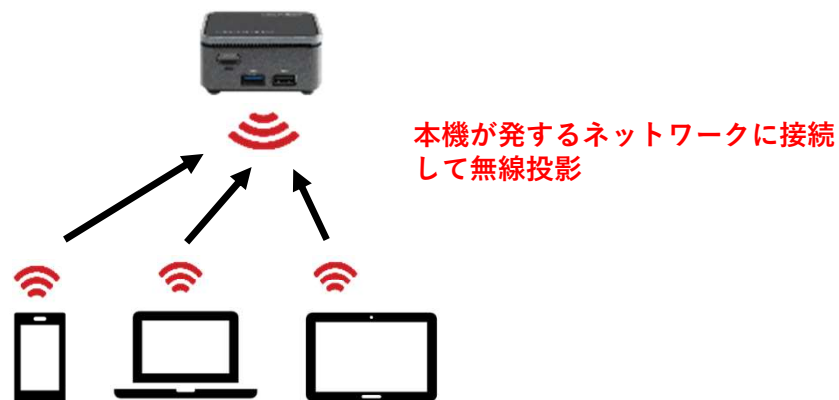
Apple製品は「AirPlay」に対応しています。

Chrome OSやAndroidデバイス、Chromeブラウザは「Chromecast」に対応しています。

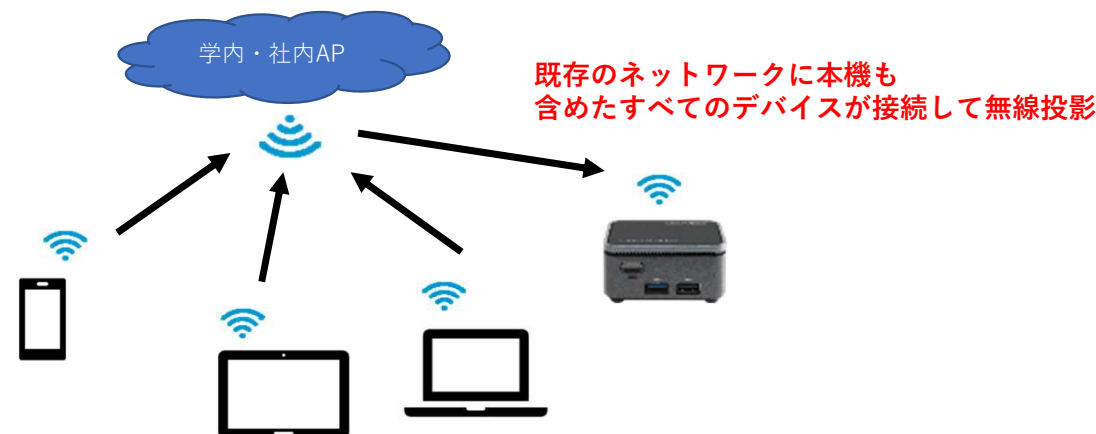
Airplay接続、Chromecast接続

本機とデバイスが同一セグメントのネットワークに接続されていることが前提条件となります。

アクセスポイントモードの場合



インフラストラクチャーモードの場合



※アクセスポイントモードとインフラストラクチャーモードについて次のページをご参照ください

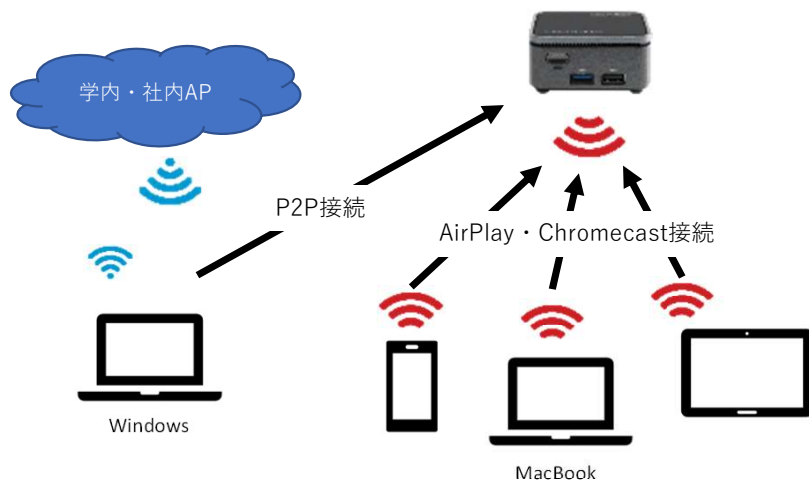


3.ネットワークの設定例3

基本的なネットワークの統合例

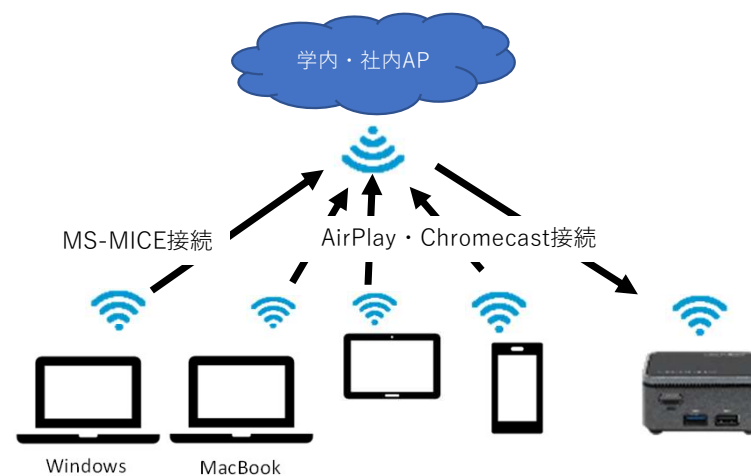
本機のWLANインターフェイスは「アクセスポイント」と「インフラストラクチャー」のいずれかを選択できます（デフォルトはアクセスポイント）。「アクセスポイント」は、本機が無線親機として機能し、モバイルデバイスへミラーリング専用のローカルなネットワークを提供します。「インフラストラクチャー」は、学内・社内アクセスポイントに本機を無線子機として接続します。

アクセスポイント・モードでの接続

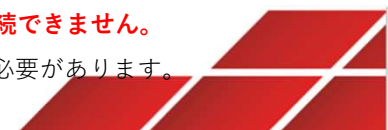


- ・ AirPlay・Chromecast対応デバイスではインターネットが使用できません。
- ・ 例外として、SIMを積んだスマートフォンなどはインターネットが使用できます。
- ・ 本機のSSID（末尾3文字のみ）とパスワードは再起動ごとに変わります。

インフラストラクチャー・モードでの接続



- ・ 既存のネットワークを経由する為、全ての端末でインターネットが使用できます。
- ・ **Miracast P2P接続は使用できません（MS-MICE接続のみに制限されます）。**
- ・ **Miracast対応のAndroidデバイスではミラーリング接続できません。**
- ・ 既存ネットワーク内で機器間の通信が許可されている必要があります。

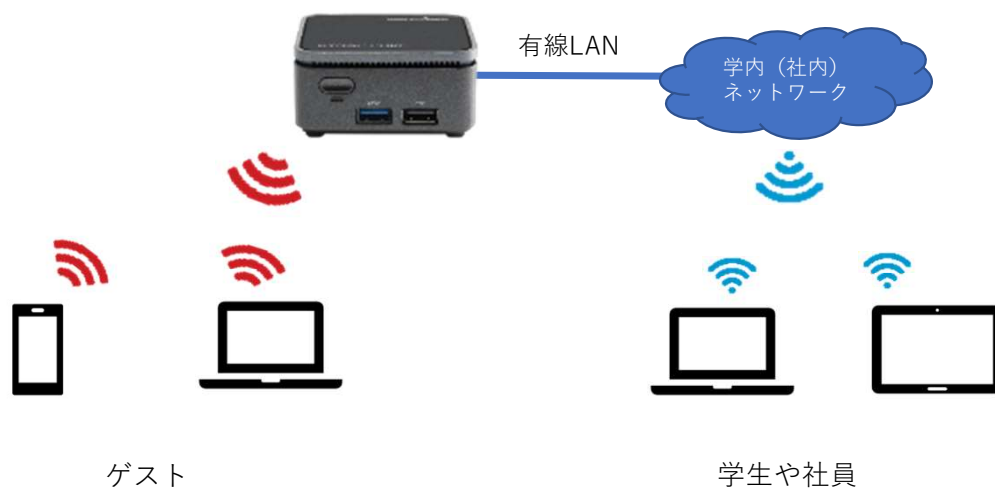


3.ネットワークの設定例4

BYOM機能を使用する際の推奨接続構成

LANとWLANの2つのネットワークインターフェイスを使用して異なる2つのネットワークから同時に接続できます。これにより、学内や社内ネットワークのセキュリティを損なうことなくゲストネットワークを利用できるため、ゲストデバイスも安心して無線投影することができます。

アクセスポイント・モードと有線LANケーブルでの接続



設定によりルーティングを有効にするも可能です。

ルーティングはセキュリティ上のリスクが生じる為、有効にする場合にはアラートメッセージが表示されます。



本体の主な設定項目と機能について

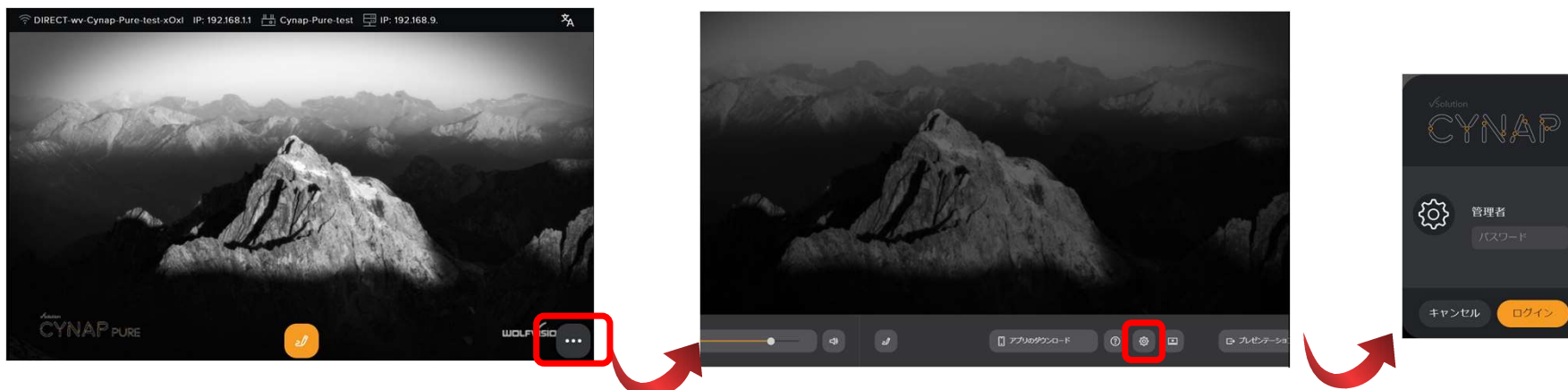


4.設定項目について

基本的な設定に関して

本機ホーム画面の任意の場所をタッチ/クリックすると左下図のようなボタンが表示されます。

右下の  ボタンを押してコントロールセンターを開き、（設定）ボタンを押して“SETTINGメニュー”を開きます。



設定画面へのアクセスには管理者用パスワードの入力を求められます（デフォルトでは“**Password**”）。

管理者用パスワードは第三者に悪用されないように変更する事を推奨します。

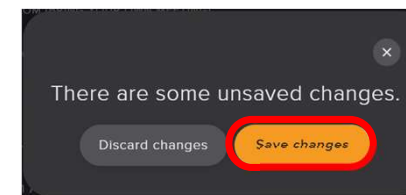
新しく設定したパスワードは適切に管理・保管下さい。

設定内容に変更を加えると、「SAVE」ボタンが設定画面の下部に表示されます。

「SAVE」ボタンを押して設定内容を保存してください。

※保存前に“設定画面を閉じる”、“他の設定項目へ移る”と右図のメッセージが表示されます。

設定内容を保存する際は「**Save Changes**」を押してください。



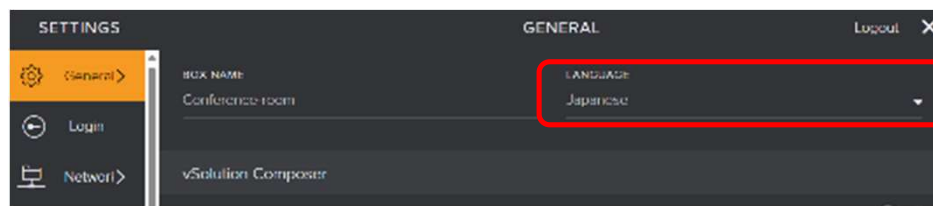
4.設定項目について

初期設定

日本国内での利用にあたって以下の設定を最初に行ってください。

General（基本的な設定）

LANGUAGE（ユーザーインターフェースの言語設定）でプルダウンから「Japanese」を選択してください。



Time Zone（利用地域時刻の設定）

Time Server → TIME ZONEでプルダウンで“Asia/Tokyo”を選択してください。

15ページをご参照ください

Wi-Fi電波の利用地域設定

Network → WLANの設定でCountryをJapanに選択してください。

19ページをご参照ください

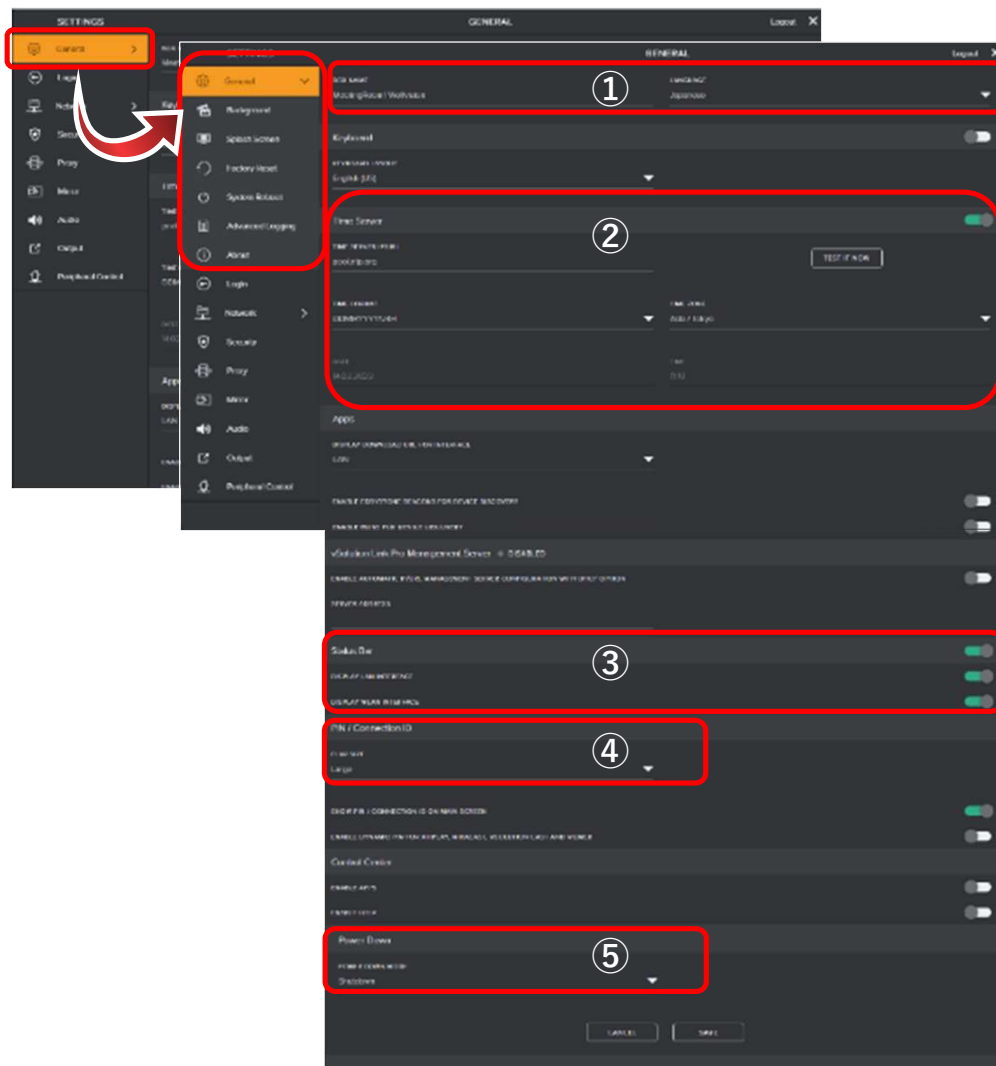
※その他、詳細な設定は下記のWebマニュアル(英語)を参照ください。


https://wolfvision.com/wolf/cynap_pure_help/index.htm#t=cynap%2Fgeneral_information%2Fabout_vsolution_cynap.htm



5.設定項目「General」について

「General」は全部で6個の小項目があります。



- ① **BOX NAME :**
機器名を変更します。隣の「LANGUAGE」は「JAPANESE」を選択してください。
- ② **Time Server :**
TIME ZONEタイムゾーンを「Asia/Tokyo」に変更してください。
- ③ **Status Bar :**
トップ画面のステータスバーの表示・非表示を選択してください。

- ④ **PIN/Connection ID :**
PINコードや接続IDの文字の大きさや表示・非表示を選択してください。
- ⑤ **Power Down :**
Shutdown
HDMI、USBおよびネットワークインターフェイスの電源をオフにします。
Power Saving
HDMIの電源がオフになりますが、LAN インターフェイスはアクティブな状態を維持します。

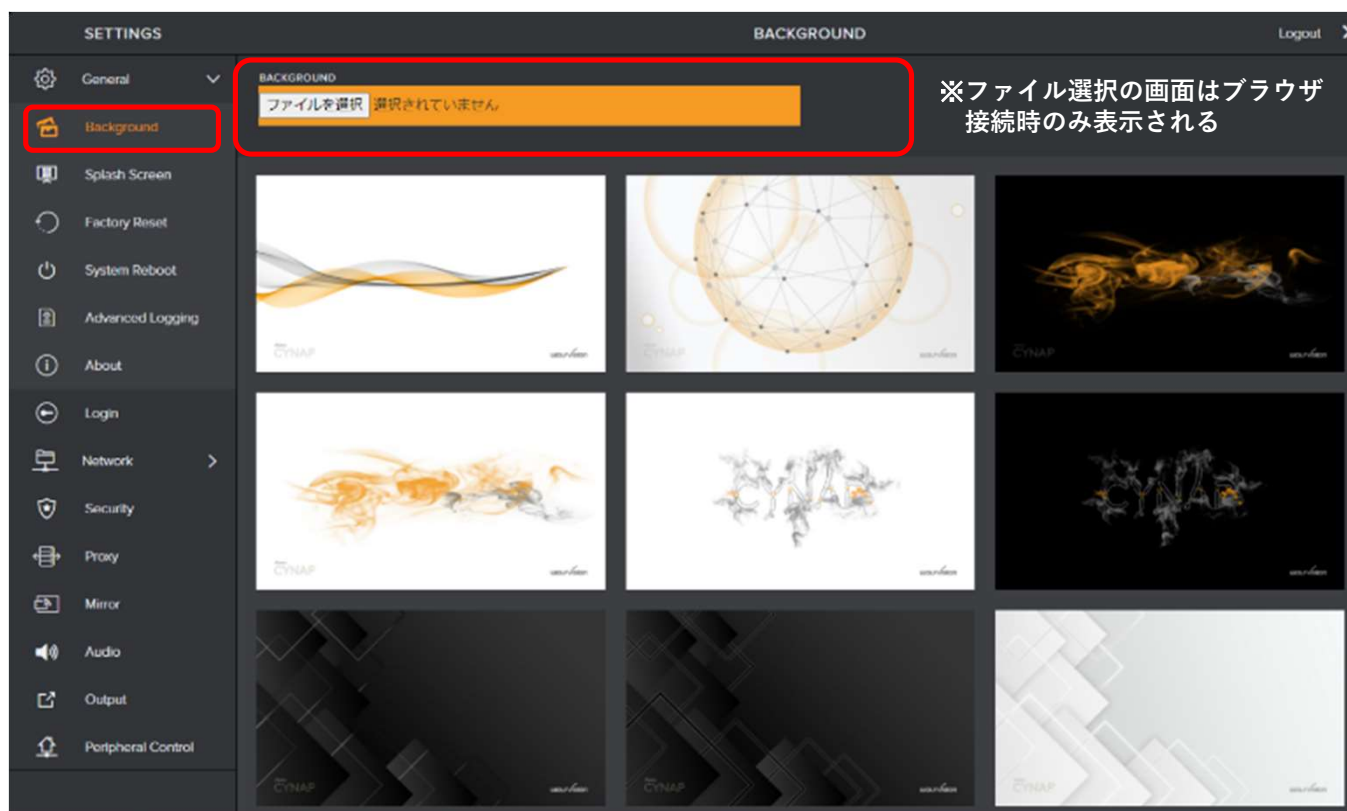


6.設定項目「Background」について

本機の壁紙に関する設定を行います。プリセットされた壁紙を選択するか、任意のカスタマイズされた壁紙をアップロードして使用する事も可能です。
 カスタマイズで設定できるファイル形式は、解像度が FullHD (1920x1080) の JPG/JPEG です。

新しい壁紙を設定すると、古い壁紙が消去されます。

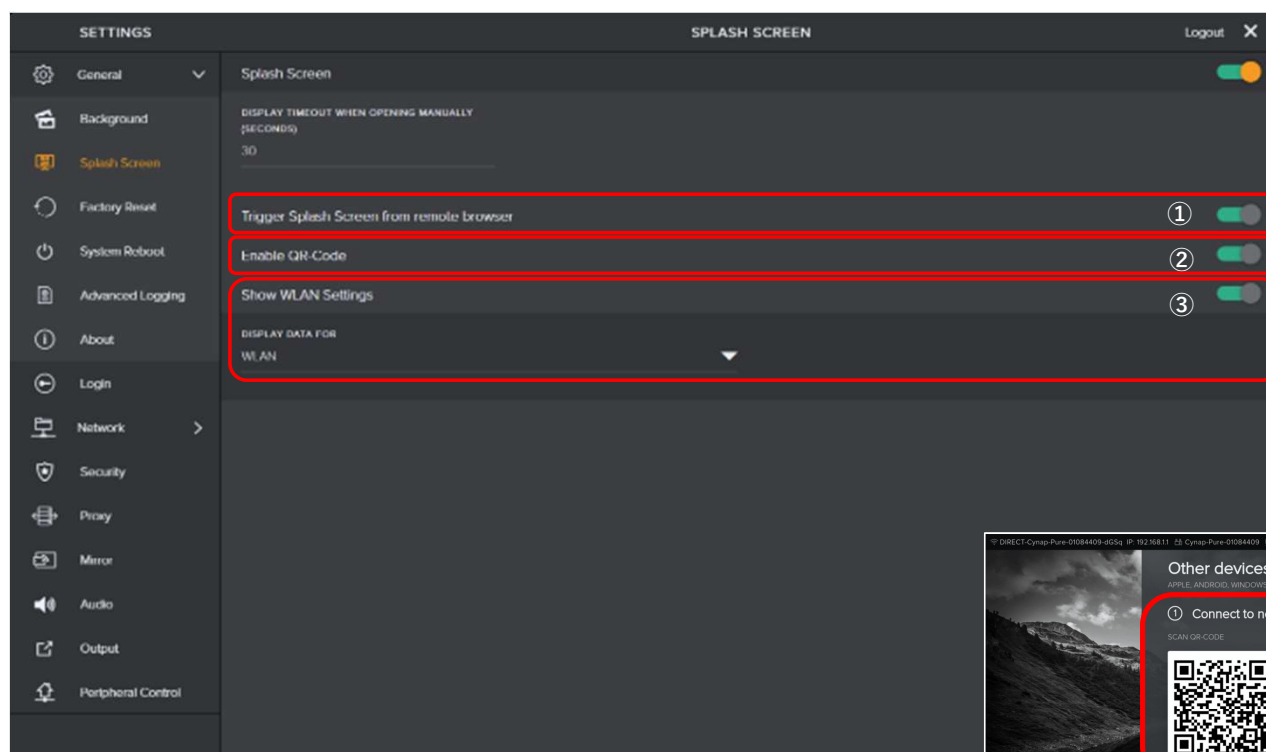
アップロードはWebブラウザから設定画面にアクセスした際のみ利用可能です。ご注意ください。



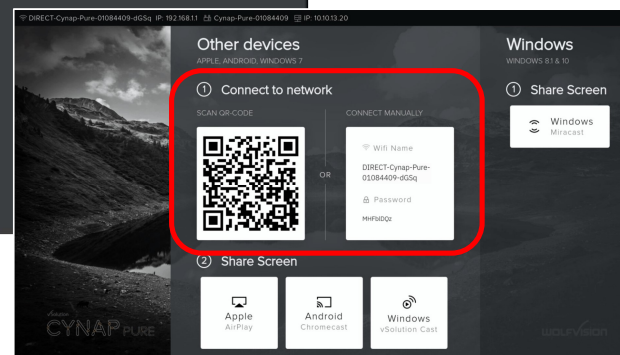
7.設定項目「Splash Screen（スプラッシュスクリーン）」について

ホーム画面に表示される接続方法に関する表示の設定を行います。

スマートフォン・タブレットではカメラ機能からQRコードを読み込みこむことで、簡単にSSIDとパスワードの情報を取り込めます。

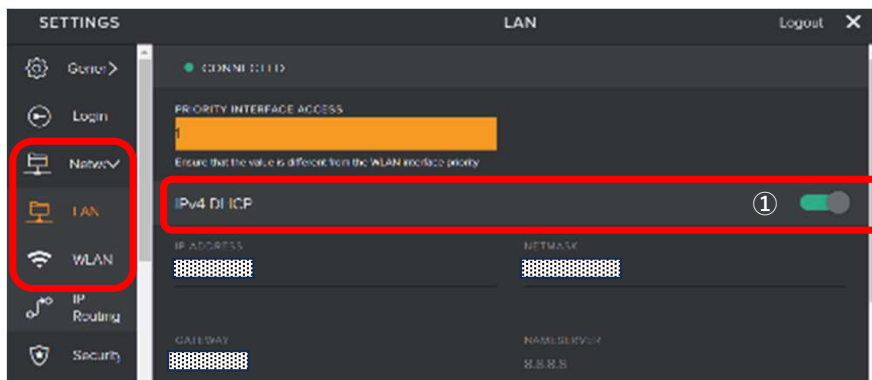


- ① Trigger Splash Screen from remote browser”
Webブラウザから遠隔でSplash Screenの画面を表示できます。
- ② Enable QR code
Splash ScreenにQRコードを表示または非表示にする
- ③ Show WLAN settings
QRコードの横にWi-Fiの情報を表示または非表示にする



8.設定項目「Network」について1

LANの設定

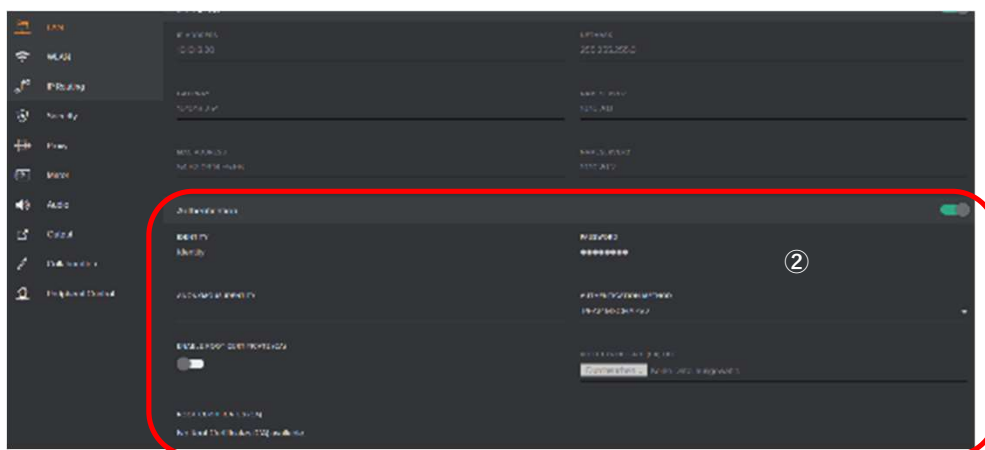


① IPアドレス自動取得の有効/無効

有線LANでネットワークに接続する際の設定です。

ネットワーク内のDHCPサーバーを利用する場合は有効にしてください。

IPアドレスを固定で設定する場合は、本項目を無効にしてください。



② セキュリティ認証

ネットワークによっては接続に認証が必要な場合があります。

認証 (Authentication) を有効にし、追加の認証データを入力してください。

ローカルポリシーによっては証明書がさらに必要になる場合があります。

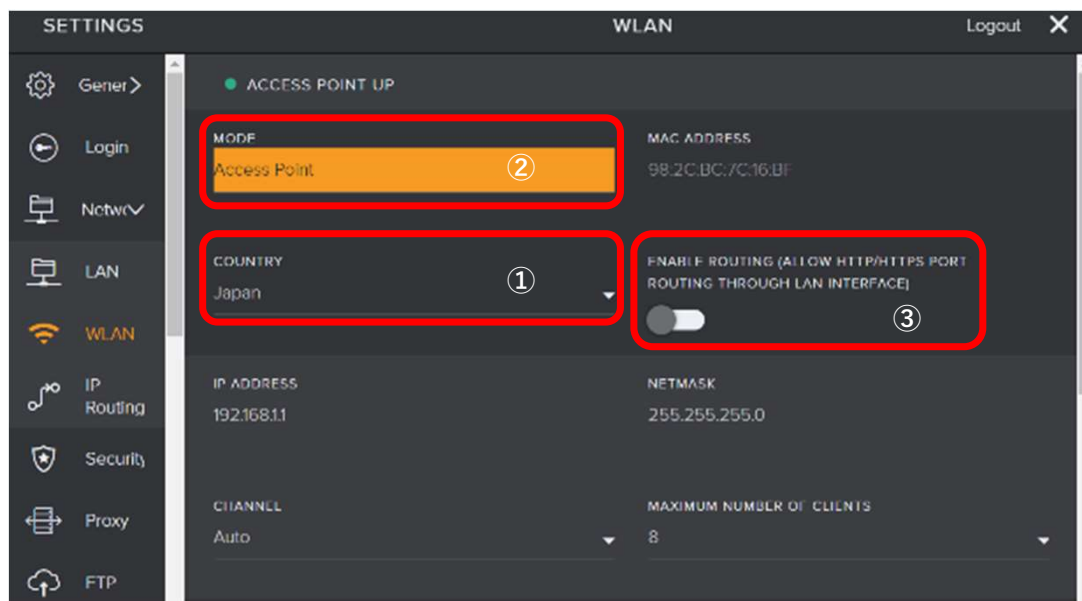
詳しくは下記Webマニュアルを参照してください。

https://wolfvision.com/wolf/cynap_pure_help/ ※英語のみ



8.設定項目「Network」について2

WLANの設定



① 地域を選択

利用する地域を選択します。Japanを選択してください。

② ネットワーク設定

ワイヤレスモード選択してください。

1. Infrastructure (インフラストラクチャー・モード)
2. Access point (アクセスポイント・モード)
3. Off

③ ルーティングの有効化

[ENABLE ROUTING (ALLOW HTTP/HTTPS PORT ROUTING THROUGH LAN INTERFACE (ルーティングを有効化)] を有効にすると、WLANに接続されているデバイスとの HTTP/HTTPS トラフィックが LAN インターフェースを経由できるようになります。

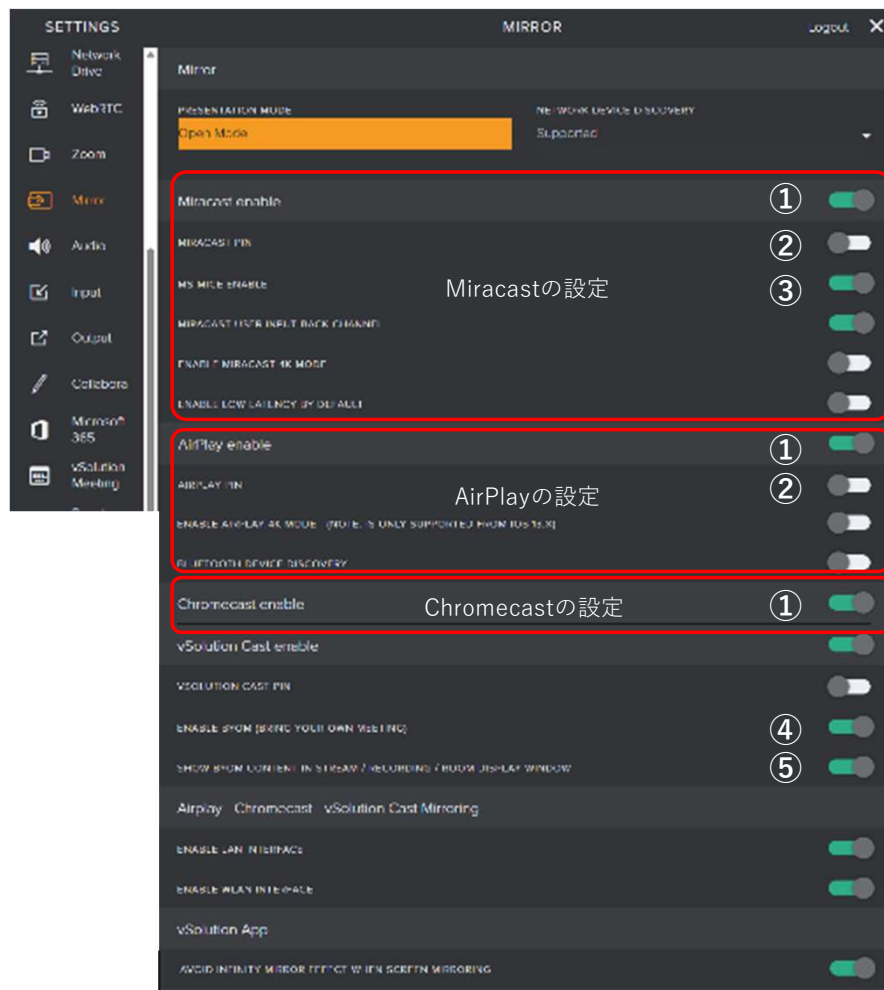
LANインターフェースのゲートウェイと最初のDNSサーバーが使用されます。

ルーティングを有効にすると、セキュリティ上のリスクが生じます。有効にする場合には十分にご注意下さい。



9.設定項目「Mirror(ミラー)」について

PINコードの設定などミラーリング使用時の主な設定を行います。



Miracast、AirPlay、Chromecast等の各ミラーリング接続ごとに設定します。
接続プロトコルごとに4桁のPINコードを設定することができます。

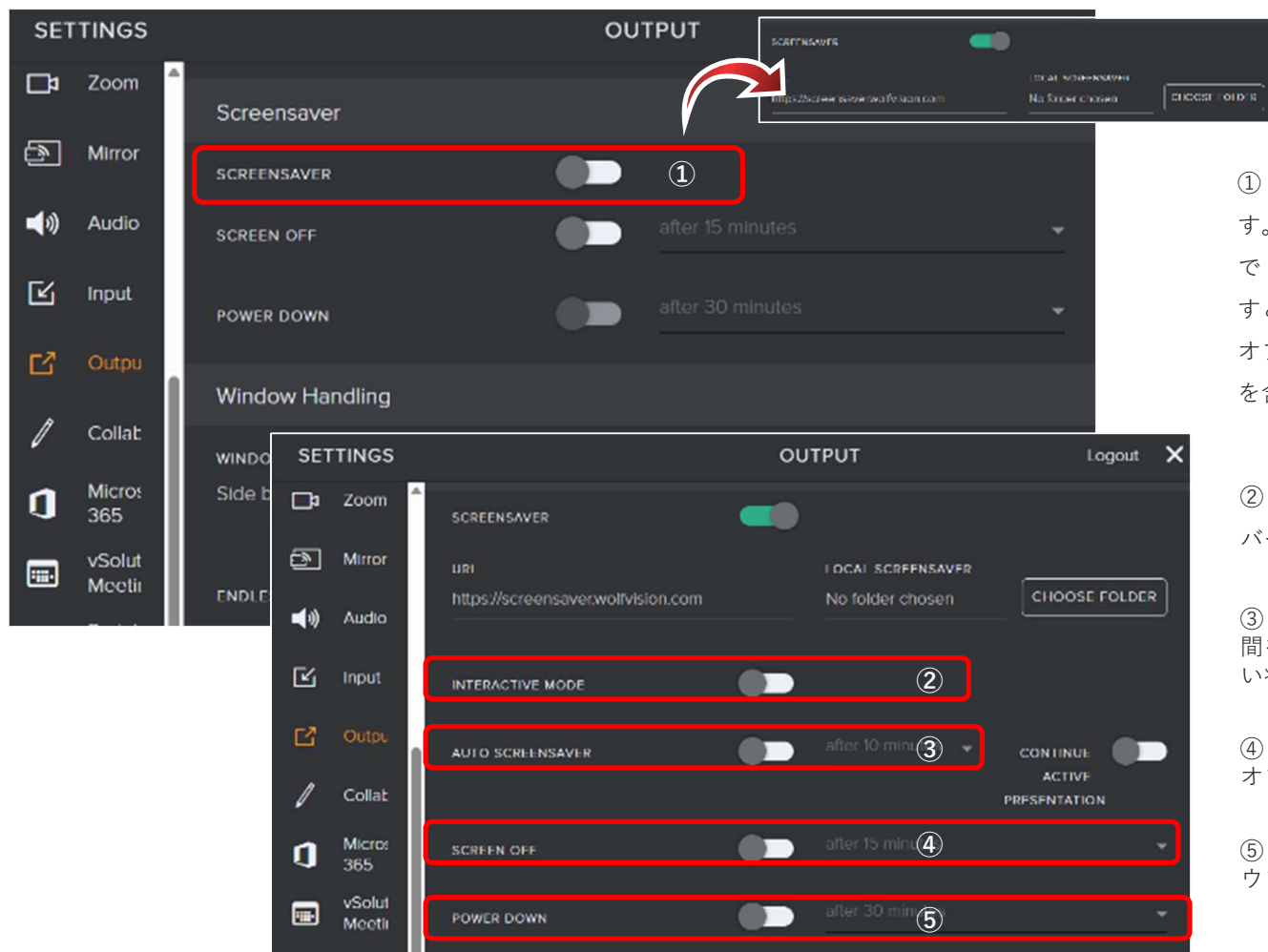
Chromecastでは、その仕様上PINコードの設定/利用は行えません。ご注意ください。

- ① Miracast、AirPlay、Chromecastのミラーリングを許可します。
- ② PINコードの表示/非表示を行います。PINコードの設定により、隣接する部屋で利用している別のサインアップに誤ってミラーリングする事を防ぐ事ができます。表示の大きさは設定項目「General → PIN/Connection ID → FLAP SIZE」変更できます。
- ③ MS-MICE接続のON/OFF
Miracast MS-MICE（ネットワーク経由の接続）を許可するかを選択できます。MS-MICE接続はデフォルトOFFに設定されてます。
- ④ BYOM機能（Webカンファレンス機能との連携）を利用する場合はONにして下さい。
- ⑤ BYOM機能使用時、ルームディスプレイウィンドウなどの画面をHDMI接続された画面以外にも表示されます。OFFにするとHDMI接続された画面以外は空白で表示されます。



10.設定項目「Output」について1

本機のHDMI画面出力に関する設定を行います。



① SCREENSAVERをONにすると、URLが設定可能になります。コントロールセンターの「プレゼンテーションの終了」で「スクリーンセーバー」を選択するか、電源ボタンを1回押すと、指定したURLが表示されます。スクリーンセーバーをオフラインで動作させたい場合は、有効なインデックス.htmlを含むローカルWebページのフォルダーを指定してください。

② 「INTERACTIVE MODE」をオンにすると、スクリーンセーバーが起動時に表示されるWebページを制御できます。

③ 「AUTOSCREENSAVER」でスクリーンセーバーが起動する時間を指定します。指定した時間中にコンテンツが表示されていない状態が続くとスクリーンセーバーを起動します。

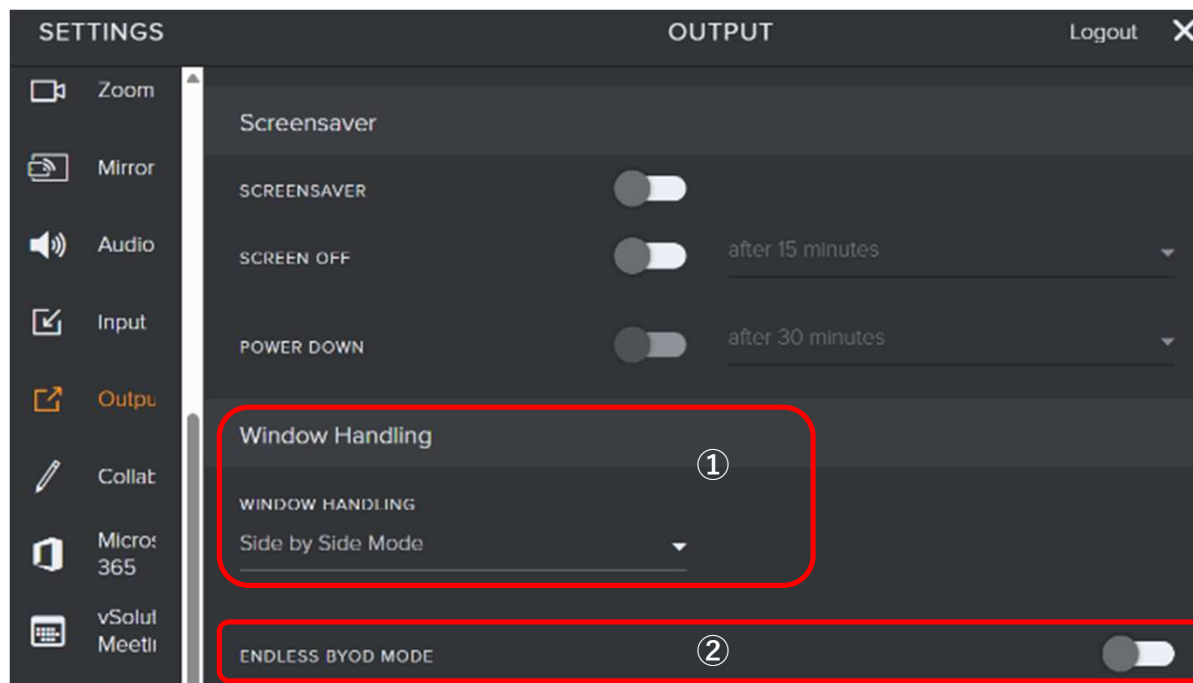
④ 「SCREEN OFF」は、指定した時間が経過するとHDMI出力をオフにします。

⑤ 「POWER DOWN」は、指定した時間が経過するとシャットダウン、パワーセービングのいずれかに移行します。



10.設定項目「Output」について2

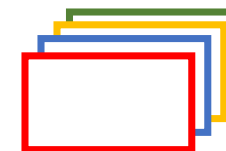
本機のHDMI画面出力に関する設定の他、分割ウィンドウの表示方法の設定をします。



②「ENDLESS BYOD MODE」は5台目のデバイスが接続した時に1台目のデバイスを自動的に切断する機能です。この機能をOFFに設定していると、先に接続した4台のいずれかのデバイスを切断するまで5台目のデバイスはミラーリングできません。

①「Windows Handling」はウィンドウの表示方法を選択します。

- ・ Side by Side Mode :
 - 1 台目の接続から最大表示されません。
 - 2 台目以降は分割表示になります。
- ・ FullScreen Mode :
 - 1 台目の接続からフルスクリーンで表示されます。
 - 2 台目以降もフルスクリーンです。
 - 紙芝居のように先に表示した画面は後ろに隠れています。
- ・ Mixed Mode :
 - 1 台目の接続からフルスクリーンで表示されます。
 - 2 台目以降は分割表示になります。



紙芝居のように重ねて表示される



画面分割で表示される

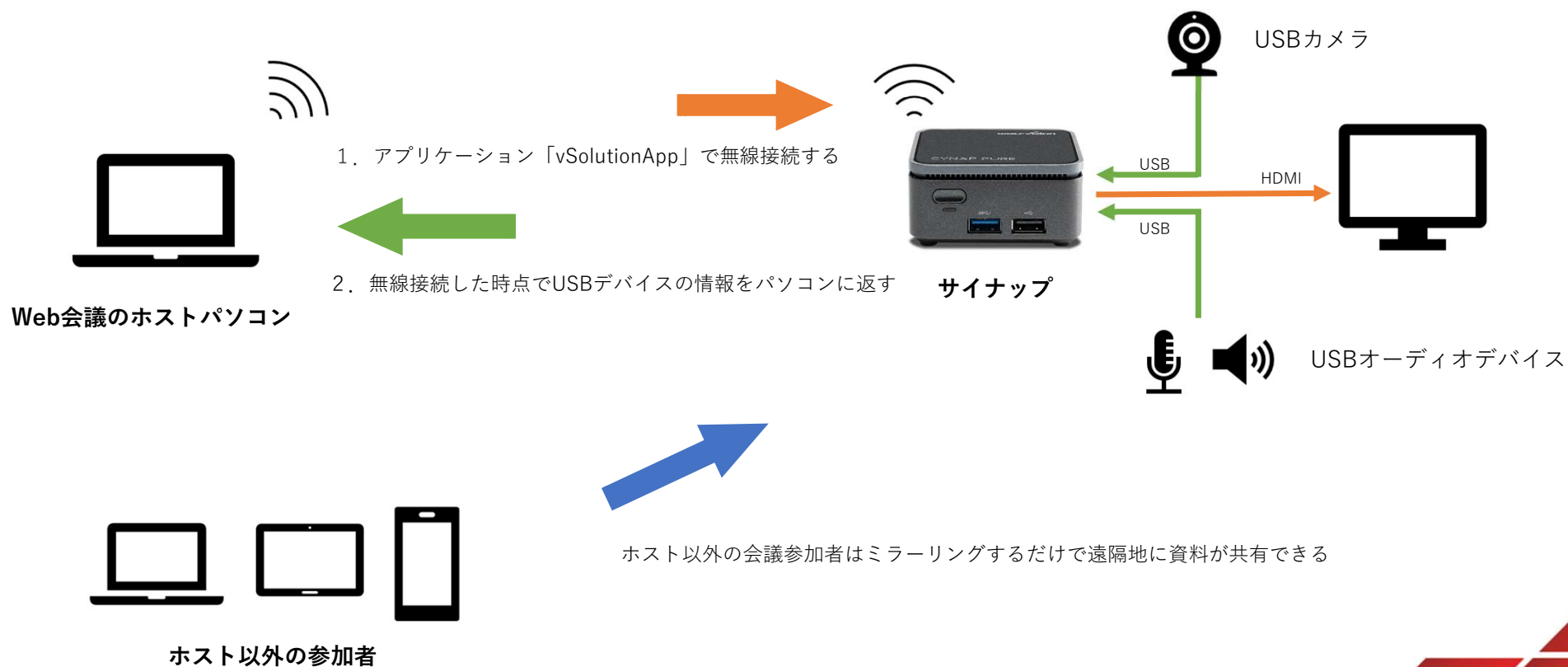


Webカンファレンス機能「BYOM」について



1 1.Webカンファレンス機能「BYOM」に関して1

BYOM機能とは、本機に接続したWebカメラ/USBオーディオデバイスをPCに接続デバイスの一つとして仮想認識させる機能です。これによりユーザーのPCは本機に接続したUSBデバイスを利用して、TeamsやZoom等のWeb会議を開催/参加することができます。また、Web会議のホストPC以外の会議参加者は、本機にミラーリングするだけでリモート参加者に資料を共有することができます。



1 1.Webカンファレンス機能「BYOM」に関して2

本機能はvSolutionApp（アプリケーション）を使用します。弊社HPよりダウンロードし、パソコンにインストールしてください。

<https://wolfvision.com/jp/support/vsolution-app>

システム要件

Windows

- ・ Windows 10 x64 または Windows 11 x64 (正式にサポートされているハードウェアで実行)
- ・ OSバージョン
 - Windows 10 バージョン 2004 (ビルド 19041) 以降・・・すべての機能をサポート
 - Windows 10 バージョン 1809 (ビルド 17763) 以降・・・BYOMを除いた基本機能をサポート
- ・ CPU：最小 Intel i5 または AMD Ryzen 5 以上推奨
- ・ メモリ：8GB 以上推奨
- ・ ファイアウォール要件をすべて満たすこと
- ・ 管理者権限（アプリケーションインストール時）

本アプリケーションは、EXEファイル形式またはMSIファイル形式のいずれかのインストーラーファイルを使用してインストールできます。

ほとんどのユーザーのインストールにはEXEファイル形式が適しています。

※MSIファイル形式は、自動化された方法で複数のデバイスに本アプリケーションを展開することを目的とした組織のIT管理者を対象としています。

MSI インストーラーを使用する場合、追加のソフトウェアパッケージを事前にインストールする必要があります。

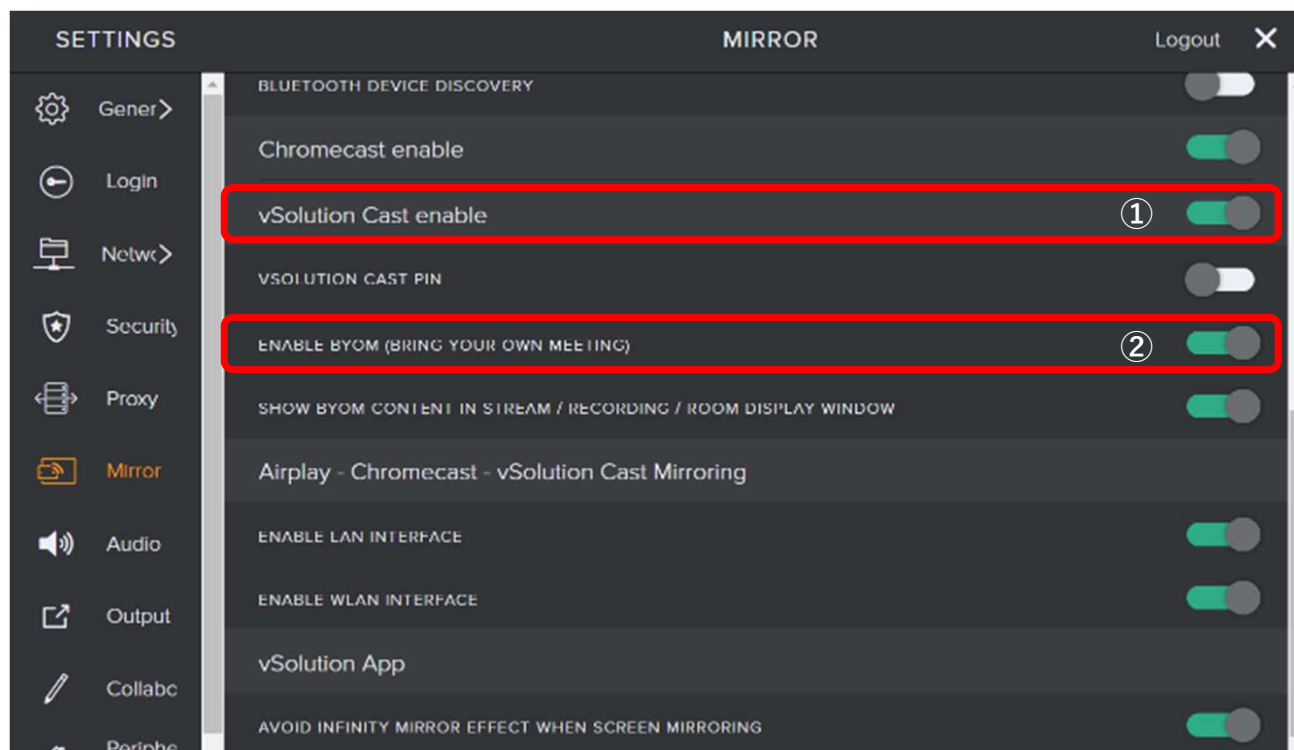
詳細は本アプリケーションのマニュアルをご確認ください。

Mac OS

- ・ デバイス検出を使用するには、Bluetooth を有効にする必要があります。
- ・ macOS 12: 一部機能制限あり(画面共有時の音声サポートなし、BYOM は非対応)
- ・ macOS 13 (またはそれ以降): すべての機能をサポート

1 1.Webカンファレンス機能「BYOM」に関して3

BYOMを有効にする



①BYOMの機能を有効にします。SETTINGSの「Mirror」で「vSolution Cast enable」を有効にしてください。

②「ENABLE BYOM(BRING YOUR OWN MEETING)」を有効にしてください。



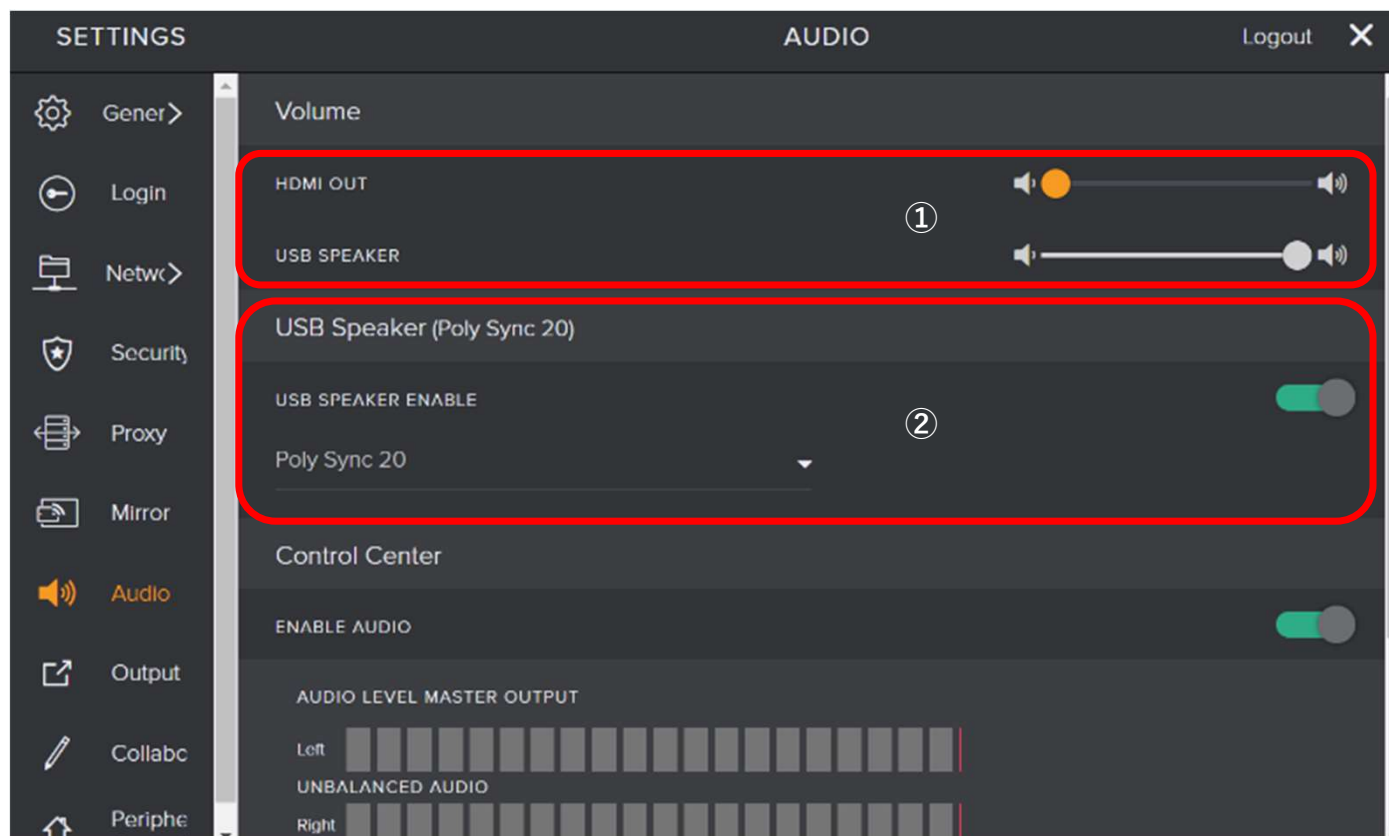
1 1.Webカンファレンス機能「BYOM」に関して4

オーディオの接続

BYOM機能を使用するには、USBマイクおよびスピーカーが本機に正しく認識されている必要があります。SETTINGSの「Audio」を選択してください。

出力する音声はHDMI OUT及びUSB SPEAKERの音量から調整してください。

「USB SPEAKER」を有効にして、プルダウンから接続したUSBデバイスを選択します。



①出力する音量を調整してください。

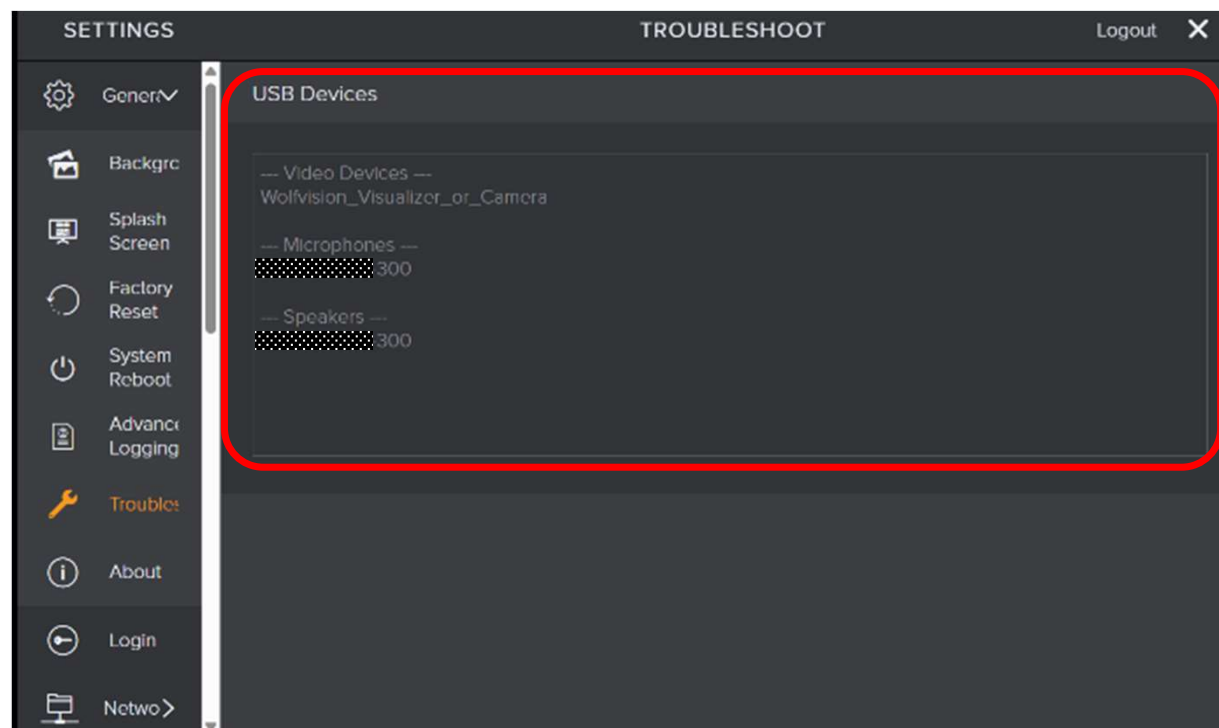
②通常、本機はUSB Speakerは自動でBYOM用に認識されるため、手動による設定は必要ありません。しかし、接続したスピーカーから音が出ない場合は、こちらのUSB Speakerとが有効になっているか、また接続したUSB Speakerがプルダウンで正しく選択されているかご確認下さい。



1 1.Webカンファレンス機能「BYOM」に関して5

接続したデバイスの確認

設定「General」→「Troubleshooting」から、接続したデバイスが正しく認識されているかを確認します。



接続したデバイスは、オーディオおよびビデオデバイスとしてハードウェアリストに表示されます。

これらのデバイスは、vSolutionAppでBYOMを利用する際に仮想デバイスとして、物理的に接続したデバイスと同様にPC上で認識されます。



その他



12. ファームウェアのアップデート 1

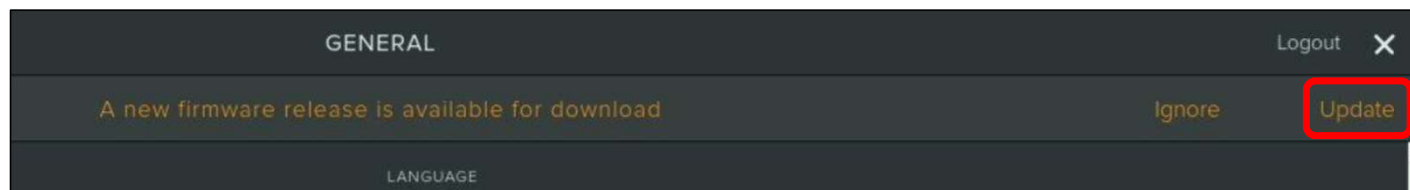
本機のファームウェアアップデートは以下の3つの方法で行うことができます。

- ① 設定画面からアップデートを行う
- ② USBメモリを使用する
- ③ 管理ソフト「vSolution Link Pro」を使用する

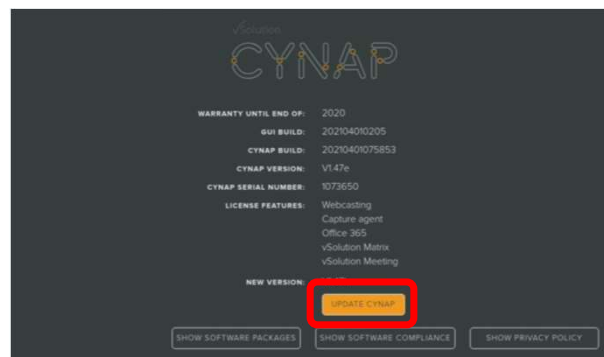
① 設定画面からアップデートを行う

本機の設定画面 (SETTINGS) にアクセスします。本機がインターネットにアクセス可能なネットワークに接続されている必要があります。

新しいファームウェアがリリースされている場合、設定画面上部にメッセージが表示されます。メッセージの右端にある「Update」を選択すると、自動的に「About」の画面に移動します。



設定画面に入ってからメッセージが表示されるまで数秒程かかる場合があります。

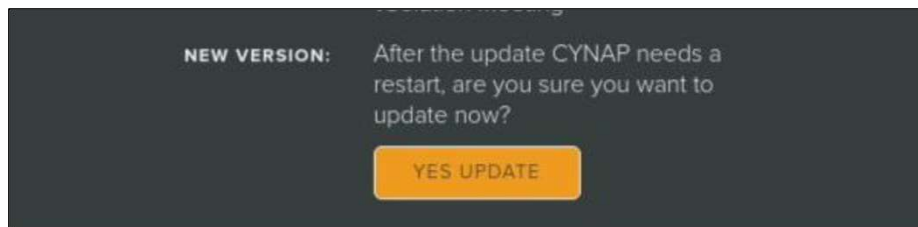


「About」画面の下にある「UPDATE CYNAP」を選択します。
項目が表示されるまで数秒程かかる場合があります。



12. ファームウェアのアップデート 2

確認メッセージが表示されます。「YES UPDATE」を選択します。



ファームウェアファイルのダウンロードが始まります。

ダウンロードが完了すると自動的に更新が始まり,更新が完了すると本機は自動的に再起動します。

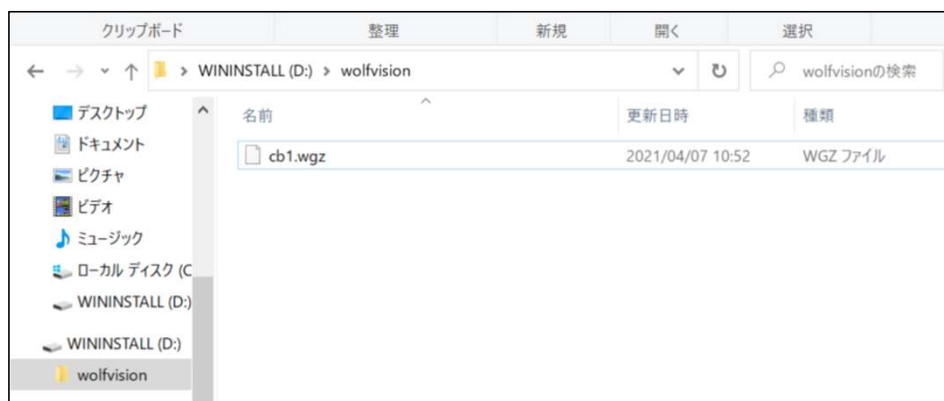
② USBメモリを使用する

下記URLよりファームウェアファイルをダウンロードします。

<https://firmware.wolfvision.com/cbp.wgz>

FAT32（またはNTFS）フォーマットのUSBメモリを用意します。

USBメモリ直下に「wolfvision」フォルダを作成し、その中にファームウェアファイルを格納します。



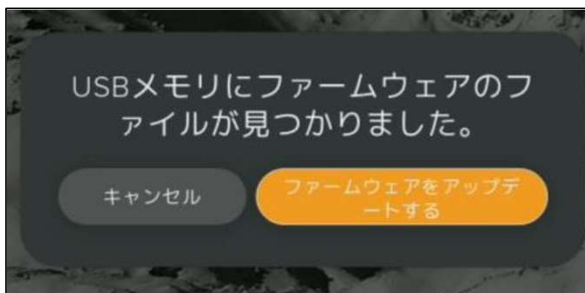
フォルダ名や格納場所が異なると正常にインストールが開始されません。
ご注意ください。



12. ファームウェアのアップデート 3

ファームウェアファイルを入れたUSBメモリを本機に接続します。

下記のメッセージが表示されますので「ファームウェアをアップデートする」を選択します。



管理者パスワードを入力し、ログインを選択すると更新が開始されます。更新が完了すると本機は自動的に再起動します。

③ 管理ソフト”vSolution Link Pro”を使用する

vSolution Link Proをダウンロードします。

<https://wolfvision.com/jp/support/vsolution-link-pro>

本機がvSolution Link ProがインストールされたPCと同じネットワーク上に接続されている必要があります。



アプリケーションはOSごとに分かれています。お持ちのパソコンのOSに合わせてインストールしてください。ご利用方法は下記リンク先からオンラインマニュアル（英語）をご参照ください。

<https://wolfvision.com/jp/support/vsolution-link-pro>



13. 困ったときは1

ミラーリングが出来ない

1. 本機及び接続するデバイスの再起動を行って、再度接続を試して下さい。
2. ファイアウォールやセキュリティソフトウェアが通信を妨げている可能性があります。
一時的にセキュリティソフトウェアを無効にして試してみるか、設定を確認してください。
3. デバイスの環境・構成によってはミラーリングが出来ない場合があります（シンクライアントやVPN環境など）。
4. デバイスのOSやドライバーが最新のバージョンがインストールされていることを確認してください。
機能や互換性は、OS/ドライバーのバージョンに依存します。
5. ご利用のデバイスがMiracast、Airplay、Chromecastの規格に対応していることをご確認ください。
6. AirPlay、Chromecastをご利用の場合、本機とデバイスは同一セグメントのネットワークに接続されている必要があります。
7. 本機がインターネットアクセスできない場合、Chromecast接続は利用できません。



13. 困ったときは2

BYOM機能が正常に動作しない

1. vSolutionAppでモードセクター内に“ルームオーディオ/ビデオ”が表示されない。

本機の設定でBYOMが有効になっていることを確認してください。

30ページのBYOMの有効化を行って下さい。

2. 「ルームオーディオ/ビデオを接続する」を選択しても接続に失敗する。

本機に正しくカメラ、マイク、スピーカーが接続されているか確認してください。

また27ページおよび28ページを参考に正しく設定が完了しているかご確認下さい。

3. Web会議中に本機に接続したスピーカーから音が出ない場合

通常、本機は接続されたUSB オーディオデバイスをBYOM用に自動認識するため、手動による設定は必要ありません。

しかし、接続したスピーカーから音が出ない場合は設定のAudioの中のUSB Speakerとが有効になっているか、

また接続したUSB Speakerがプルダウンで正しく選択されているかご確認下さい。

スピーカー：Wolfvision Virtual Audio Device

マイク：Wolfvison Room Audio

